２月度生涯研修

金属等の修復より切削量減

最新の接着材料による治療解説

臨床学術部は2月17日、「修復治療の最前線」をテーマに田上順次氏（東京医科歯科大学教授）を招いて生涯研修講座を開催し、120人が参加した。

田上氏は、「感染象牙質でみられる透明象牙質の基本的な構造を知ることが臨床で無痛治療につながる」と説明。透明象牙質について、「厳密な意味では感染を起こしているが、この感染はそれほど気にする必要はない」とし、「ミネラル成分が象牙細管内に存在するため接着材料の硬化時により強固なものとなる一因となっており、接着力が期待できない金属等の修復よりも歯牙の切削量が少なくなり、結果的に修復後の歯髄炎などの不良予後の防止が期待できる」と解説した。

修復材料の特徴や性質等を詳しく解説する田上氏＝２月17日、M&Dホール

田上氏は、接着材料について、30年間の変遷、CR修復時に必ず起こる収縮応力による悪影響とその回避方法を。後半は2級充填からダイレクトベニヤ、ダイレクトBrと接着治療の広範囲な臨床応用例を丁寧に解説した。

（港区・平尾清司）

シリーズ講習会

病気を持った患者の歯科治療

第2回　循環器疾患の特徴を学ぶ

大阪市北部地区は「病気を持った患者の歯科治療」第2回を2月9日、M&Dホールで開いた。下永田剛氏（医師・西宮市開業）を講師に会員ら61人が循環器疾患における病気の特徴や歯科治療で注意すべき点を学んだ。

下永田氏は、高血圧症の基本分類を説明。「Ⅲ度高血圧症（180／110㎜Hg）は、脳卒中になってもおかしくない状態。治療の際は特に気を付けるべき」と警鐘を鳴らした。

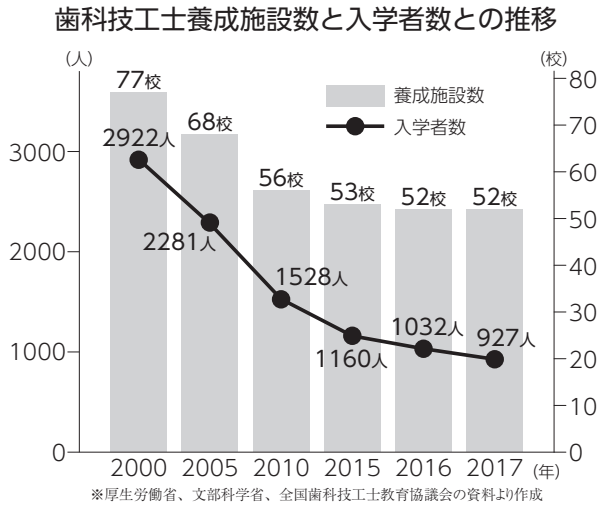
また、心筋梗塞と狭心症の見分け方と特徴について下永田氏は、「心筋梗塞では強い痛みが数時間続き、ニトログリセリンは効かず、冷や汗が出る」と紹介。「狭心症は5～15分以内で収まり、安静にすると良くなる。ニトログリセリンが有効で、労作時に出現することがある」と解説した。緊急時については、「アダラートを舌下投与した場合は20秒程度で奏功する。過度の血圧低下がみられたときは、下肢を上部に上げるショック体位を取ると効果がある」と説明した。

最終回は3月23日、「膠原病患者の口腔病変」をテーマに開催する。

（淀川区・松本博）

数字で見る歯科医療 4

技工危機の打開を



※厚生労働省、文部科学省、全国歯科技工士教育協議会の資料より作成

歯科技工士養成機関への入学者数は、2017年度で927人と2000年の2922人から3分の1に激減した。入学者減により養成機関も次々と閉鎖に追いやられている。その背景には技工士の労働の問題がある。

保団連が実施した「技工所アンケート2016」では、回答した技工士の3人に1人が週81時間以上の長時間労働が常態化しており、半数以上が可処分所得300万円未満という厳しい実態が明らかになっている。

近年、技工士の就業者数は3万5千人前後で推移しているが、約半数が50歳以上と高齢化が進んでいる。このままでは将来的に技工物の安定供給が難しくなるとともに質と安全性の低下が懸念される。

技工問題改善に向け、低すぎる歯科診療報酬の是正と取引ルールの明確化が求められている。

（つづく）

毎月更新　大阪府歯科保険医協会

求人情報サイト

▷協会HPから申し込み
▷費用は３カ月で１万円

※協会は情報提供のみです。

http://osk-net.org/job/

咀嚼玩味⑨

卒業生に伝えよう

大阪大学歯学研究科長・歯学部長　予防歯科学・教授

天野敦雄

今年もまた卒業式の季節がやって来る。学部長、歯学研究科長である私は、学部、大学院、附属技工士学校の3つの卒業式で挨拶をすることになっている。おまけに謝恩会での挨拶もある。挨拶は得意ではないが、特に嫌でもない。なぜなら卒業生の人生に思いを馳せた話がお決まりだし、誰も真剣に聞いていないから気楽なのである。

だが、今年はちょっと違う。卒業生のクラス担任は私だ。思えば担任としてよく働いた。と言っても、担任の仕事はシンプルだ。不始末の尻ぬぐいと不勉強な学生の指導である。いろんなことがあった。走馬燈のように思い出される。年のせいで涙腺は緩い。挨拶の最中に涙が出たらどうしよう。ついでに鼻水まで出たらえらくかっこわるいぞ、と今から心配である。

学生たちは卒後の進路を迷う。ジェネラリストとなるか、スペシャリストを目指すかの分かれ道である。進路選びには各学年毎にちょっとしたはやりがある。クラスの自信家が発した根拠の薄い情報がはやりの源である確率は高い。今年のはやりは市中病院の口腔外科だった。口腔外科が上手くなるし一般診療もできるから、と言うのが理由らしい。

担任として進路相談を受けた。しかし、今だから告白する。私にアドバイスを求めるのは犬に道を尋ねるようなものだ。何しろ私は「削る・詰める」全盛時代に予防歯科を選んだ薄ら馬鹿である。進路をクラス仲間に告げた時、彼等は真剣に私を諫めた。「人生を捨てる気か！」とまで言われた。

しかし、時代は「削る・詰める」から「防ぎ・守る」時代へと移り始めている。人生はうまく出来ている気がする。卒業生に伝えよう。どの道を選ぶかではなくて、選んだ道でどう生きるかが大事だと。自分の人生を精一杯生きることが君達自身に対する責任だ。楽しい学生生活だったかと思う。でも後ろを振り向く必要はない。君達の前にはいくらでも道がある。大切なのは、君達が為すべきことをいつも自分に問いかけていること。希望があるところに人生がある。君達のやりたいことに向かっていけ。失敗してもいいんだ。そう、人生には続きがあるから。

いい話になりそうだ。最後のくだりできっと鼻水が出ると思っている自分が…少し気の毒だ。だって、誰も真剣に聞いていないのだから。

迅速・ていねい…**労働保険事務組合**

医院の事務省力化・経費削減に！

事務委託するメリット

- 事業所がハローワークや労働基準監督署に行って手続きする時間や労力が省けます！
- 割安な事務委託手数料でご利用いただけます！
- 労働保険料を年３回に分割して納付できます！
- 事業主や家族従事者も労災保険に特別加入することができます！

事務組合の事務委託手数料	
労災保険のみ（労働者数に関わらず一律）	年額12,000円
労災保険＋雇用被保険者数（１～３人）	年額12,000円
労災保険＋雇用被保険者数（４～５人）	年額18,000円
労災保険＋雇用被保険者数（６人以上）	年額30,000円

お問い合わせは、大阪府歯科保険医協会／共済部　TEL 06－6568－7438まで